

「でんきで創る夢・未来」

静岡県立掛川工業高等学校 1年 杉山成吉

電気は、今日の日本にはなくてはならない存在だ。家に帰ってテレビがつく、エアコンが効いているなど、そんな当たり前の日常があるのも電気があるからだ。

だが、2011年3月11日に発生した東日本大震災による、福島原子力発電所の事故の影響で、二酸化炭素排出量の少ない原子力発電を使用することに関する賛否が問われている。

私は、これからの日本のために新しい発電方法を開発すべきであると思う。私の意見としては、発電できる量が少ない太陽光や風力だけではなく、安定した電力供給が可能な地熱発電をすべきだと思う。地熱発電は日本は火山が多いため可能であり、二酸化炭素排出量も少なく、何より安全な発電方法だ。

しかし、開発コストが高いことや温泉地を開発することになってしまうデメリットもある。だが、火力や原子力といった発電は安全面や二酸化炭素排出量などといった問題もあるため、効率良く、かつ安全な発電にしていくべきだと思う。

電気をつくることは決して簡単なことではない。多くの意見やリスクもあるはずだ。だが今のままでは、資源が枯渇し安全面でも問題がある発電を続けることになるかもしれない。それを解決していき、より良い未来へと繋がってほしい。

電気が安定した未来では、二酸化炭素による大気汚染も少なくなり、電気自動車などの産業技術の発展や電気を利用した技術が多くなっていくだろう。

日本のこれからの社会のためにより良い発電方法を見つけ、明るい未来になってほしいと思う。